

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：補助金額	指標の求め方：補助金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：観光協会ホームページアクセス数	指標の求め方：観光協会ホームページにアクセスされた人数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値 実績値	11,127 7,081	11,127 7,047	11,127 8,729		11,127	11,127	11,127		11,127	11,127	11,127	11,127	
	成果指標 1 (単位/件)	計画値 実績値	132,400 132,566	132,800 157,692	133,200 161,175		133,600	134,000	134,200		134,400	134,600	134,800	135,000	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					あまり達成されていない									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					少し上がっている									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない									
	総合評価					普通である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 活動指標は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各団体による事業が相次いで中止となり、補助金が未執行となったため計画値を下回った。 成果指標は計画値を満たしているが、今後も各観光関連団体や事業者と連携のうえ効果的な情報発信を実施し、砂川市のイメージアップと知名度向上を図り、観光振興につなげていく必要がある。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響によって、団体補助の交付を予定していた事業の一部が中止となり、補助金の未交付があったことから、活動指標は計画値を下回ったが、一方で再開されたイベントも多くあり、それらの情報発信によって成果指標は計画値を上回ったものと考ええる。 なお、本年4月より商工労働観光課副審議監が観光協会事務局長を担っており、人件費に対する補助金の交付は事務局員1名分となっている。	自己分析： 新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、各観光関連団体による事業が再開されることに伴い、雑誌やテレビ、SNS、観光協会ホームページなど各種メディアを活用し情報発信したことにより、目標値を上回ったものとする。 今後は引き続き、砂川市のイメージアップと知名度向上につながる情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。	判断理由： 新型コロナウイルスの影響により、活動指標は伸び悩んだが、観光協会による事業の実施や各種情報発信によって、砂川に関心を持つ観光客が増え、観光協会ホームページアクセス件数は計画値を大きく上回ったものと考えられる。 また、令和5年度はほぼ全てのイベントが再開されており、賑わいの回復が見込めることに加え、市職員が観光協会事務局を兼務していることとより連携が図られていることを踏まえ、総合評価は「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性					手段の見直し										
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5： 令和5年5月より新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられたことで、ほぼ全てのイベントがコロナ禍前と同様に実施されており、今後においても、まちの賑わい創出や地域の活性化につながる取り組みは重要であると判断できることから、観光協会による自主事業、事務局事業及びその他団体に対する補助、観光PRなどの情報発信に対する支援として、適正な補助金の支出とともに必要な連携を行っていくものである。 なお、令和4年度において、観光協会に地域おこし協力隊1名を配置する検討が進められてきたところ、市職員が観光協会の事業や運営に携わることとなったことから見送り、令和5年度も同様の対応としているが、令和7年4月に開設を予定している駅前施設における観光協会の役割を考慮し、令和6年度以降、観光協会の業務を主とする地域おこし協力隊の採用を改めて検討するなど、「手段の見直し」を行っていくものである。					R8：					R10：				

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：観光協会ホームページアクセス数	指標の求め方：観光協会のホームページにアクセスされた人数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：市全体の観光入込客数	指標の求め方：市全体の観光入込客数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値 実績値	132,400 132,566	132,800 157,692	133,200 161,175		133,600	134,000	134,200		134,400	134,600	134,800	135,000	
	成果指標 1 (単位/千人)	計画値 実績値	1,627.8 902.9	1,630.4 1,168.5	1,633.0 1,477.4		1,635.6	1,638.2	1,640.8		1,634.4	1,646.0	1,648.6	1,651.2	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない									
	総合評価					普通である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 活動指標は計画値を満たしている。成果指標が計画値を下回った主な理由は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う不要不急の外出や往來の自粛などの感染拡大防止措置の影響によるものと考えられる。市のみの取り組みで計画値に近づけることは難しい側面もあるため、今後も各観光関連団体や事業者と連携のうえ効果的な情報発信を実施し、砂川市のイメージアップと知名度向上を図り、観光振興につなげていく必要がある。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度まで中止とされていたイベントの一部が再開されたことや、雑誌・テレビを活用した情報発信を「夏休み期間」や「わかさぎシーズン」など効果的な時期(7月、8月、1月)に行なった事で、砂川に関する観光客が増え、活動指標が計画値を上回ったものと判断される。また、上半期におけるコロナの影響が大きく、成果指標は計画値を下回ったが、各種取り組みによって、昨年度に比べ入込客数は3割ほど増加した。	自己分析： 新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、各観光関連団体による事業が再開されたことにより、コロナ禍前の状況に戻りつつあるが、生活意識・行動の変化等の影響により、成果指標は計画値を下回ったものと考えられる。今後は引き続き、砂川市のイメージアップと知名度向上につながる情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。	判断理由： 各団体が感染防止対策を講じながらイベントを実施したことや、観光パンフレットやホームページに加え、雑誌やテレビなどマスメディアを活用した魅力の発信を継続したこと、観光協会ホームページアクセス件数は計画値を上回ったものと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数は伸び悩んだものの、令和5年度はほぼ全てのイベントや事業が再開されている状況に加え、昨年度同時期に比べ3割ほど増加していることを踏まえ、総合評価は「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性						手段の見直し									
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5： コロナ禍において観光入込客数は大幅に落ち込んだものの、令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ、これまで中止とされていた自主事業や各団体によるイベントが再開されている状況であること、また、情報発信について、観光パンフレットやホームページに加えて実施している、雑誌やテレビなどマスメディアを活用した観光PRが、飲食店等への聞き取りや観光協会ホームページアクセス件数の結果からも一定程度の効果が得られていると判断できることから、観光誘客に向けた事業を継続することとするが、より効果的な取り組みとなるよう、「手段の見直し」を行い、各団体や事業者との連携をさらに強化していくものである。				R8：				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：補助金額	指標の求め方：補助金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：スイートロード事業実施数	指標の求め方：スイートロード協議会が実施した各種事業の数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値 実績値	812 812	897 586	530 527		943	863	995		1008	707	530	943		
	成果指標 1 (単位/回)	計画値 実績値	13 8	13 10	13 13		13	13	13		13	13	13	13		
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					あまり達成されていない										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない										
	総合評価					普通である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 活動指標は、計画値を満たしている。成果指標が計画値を下回った主な理由は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を予定していた自主事業や各団体主催の関連事業が中止となったため、計画値を下回った。事業の開催を判断するにあたっては、新型コロナウイルスの感染状況などを踏まえ、各主催者において検討・判断し、開催決定後であっても、状況によっては中止・延期を検討する必要がある。	自己分析： スイートロード協議会公式キャラクターを活用した観光PRとして計画していた「卓上のぼり」及び「スイートロードマップ」の作製を在庫の関係で見送ったこと、また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた事業が一部実施できなかったことから、活動指標、成果指標ともに計画値を下回ったが、スイートロード加盟店を訪れる観光客は、昨年度に比べ回復傾向にある。	自己分析： コロナ禍を経たことにより、社会情勢に合った事業が開催できるかを検討するため、事業の一部を実施しなかったが、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことにより、他団体が主催の関連事業が多く開催されたことで、成果指標の実績は計画値を満たしている。今後は引き続き、スイートロードに関する情報発信の時期や内容が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。	判断理由： PR用物品の計画見直しに伴う補助の減、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、自主事業や各団体が行う関連事業が一部中止となったことから、活動指標、成果指標ともに伸び悩んだが、令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ、スイートロード協議会による各種事業や「スイートロード」を活用した魅力発信を含めたPR事業が計画どおり実施されている状況から、総合評価は「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
今後の方向性					手段の見直し											
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5： スイートロード協議会は、平成14年度に官民連携組織として発足し、令和4年度をもって設立から20年が経過、この間の地道な取り組みによって「すながわスイートロード」は道内外に広く認知され、砂川のお菓子を求めて来砂する観光客は年々増加している。また、現在においても、砂川市の知名度向上においては、スイートロードを素材とした取り組みが必要不可欠であり、観光PRはもちろんのこと、各種イベントやふるさと納税でも広く取り扱われている状況から、引き続き、協議会への支援を行っていくものであるが、「手段の見直し」を行い、より効果的・効率的な活動ができるよう、各団体や事業者との連携を強化していくものである。					R8：					R10：					